

～とちぎの未来を築く～ 県土づくりプラン2021

栃木県 県土整備部

1 策定の趣旨

「県土づくりプラン2021」は、令和3(2021)年2月に策定された栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に掲げるめざすとちぎの将来像の実現に向けて、県土づくりの各分野において、今後5年間で重点的に進めていく施策や目標をお示しするものです。

2 計画期間

令和3(2021)年度～令和7(2025)年度

3 プラン概要

(1) 全体の構成

道路、河川・砂防、都市計画、都市公園、下水道、建築物、住宅、公共交通など、各分野における現状と課題を踏まえ、今後進めていく11の重点施策と、新たな時代の潮流の中で必要となる横断的な視点を持って進めていく6の横断的施策を位置付けています。

(2) 具体的な施策 [※太字：新規施策・取組]

《重点施策》

- ①成長を支える広域道路ネットワークの充実・強化（地域高規格道路、スマートICの整備等）
- ②誰もが安全で安心して利用できる道づくり（通学路等の歩道整備、事故危険箇所対策等）
- ③快適で円滑な移動を支える道づくり（観光地の渋滞対策等）
- ④未来を見据えた持続可能な道路管理（予防伐採、長寿命化対策等）
- ⑤地域資源を活かしたサイクルツーリズム（魅力的なサイクリング環境の創出等）
- ⑥令和元年東日本台風による被災箇所の早期復旧と再度災害の防止（改良復旧、堤防強化等）
- ⑦あらゆる関係者との協働による流域治水対策（河川、砂防施設の整備等）
- ⑧「とちぎのスマート+コンパクトシティ」の実現（拠点形成、にぎわい創出等）
- ⑨誰もが安心して快適に暮らせる住まいの確保（県営住宅バリアフリー化、住宅・建築物耐震化等）
- ⑩快適で魅力にあふれる都市公園づくり（Park-PFI制度の活用等）
- ⑪地域の実情に応じた公共交通サービスの確保・充実（ICカード、MaaS、無人自動運転等）

《横断的施策》

- ①県土強靱化、防災・減災対策
- ②社会資本の長寿命化対策
- ③協働による県土づくり（ボランティアサポート、建設業支援等）
- ④未来技術を活用した新しい県土づくり（ICT活用工事等）
- ⑤プランの推進とSDGs
- ⑥「新たな日常」の実現

4 終わりに

「とちぎ未来創造プラン」に掲げる「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するためには、県民の日常生活や産業・経済活動の礎となる社会資本の整備・保全が不可欠です。今を生きる私たちが豊かで安心して暮らせるとちぎをつくり、次の世代にしっかりと引き継いでいくために、時代の潮流を的確にとらえ、栃木県建設業協会会員の皆様をはじめ、多様な主体と協働しながら、とちぎの未来を築く県土づくりを着実に推進して参りますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

めざすとちぎの将来像

人が育ち、地域が活きる

未来に誇れる元気な“とちぎ”

【人材育成戦略】	◇次代を担う人がたくましく育ち、あらゆる場で活躍する「とちぎ」
【産業成長戦略】	◇魅力ある多彩な産業が活力にあふれ、豊かさに満ちる「とちぎ」
【健康長寿・共生戦略】	◇いつまでも健康で、誰もがいきいきと暮らせる「とちぎ」
【安全・安心戦略】	◇強くしなやかで、安全・安心を実感できる「とちぎ」
【地域・環境戦略】	◇誇れる地域・豊かな自然を未来につなぐ「とちぎ」

